

## 飯塚市新産業創出ビジョン策定について

### 1. ビジョンの策定について

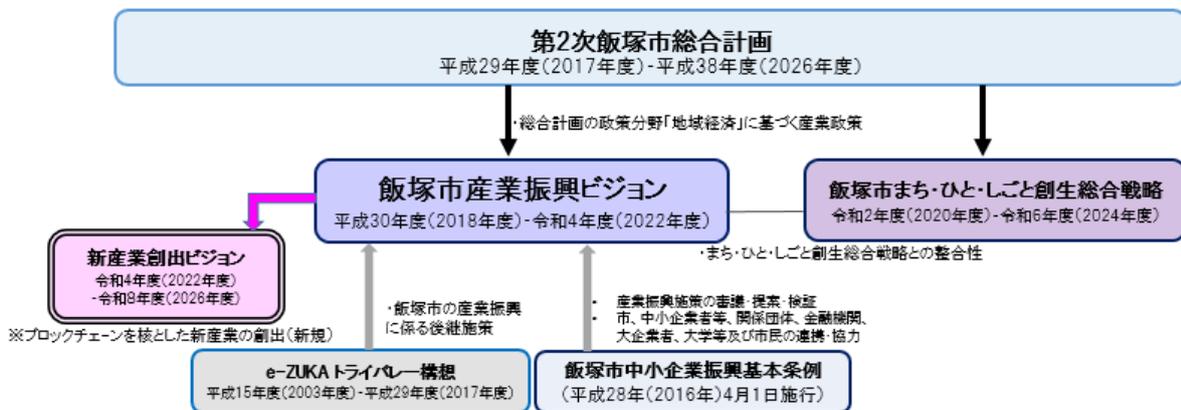
2002年度から進めてきた「e-ZUKA トライバレー構想」は、2つの理工系大学の大学力を活かしたIT企業の集積や大学生の起業支援を行い、日本でもいち早く情報産業都市づくりに取り組んできた。現在も、AIやIoT、クラウドなどの様々な情報技術を有する研究者や技術者、学生が市内に在籍し活躍をしている。特に大学の情報技術に関する研究者は130名程在籍しており、飯塚市の情報産業を支える基盤となっている。さらに、企業や技術者のそれぞれの活躍により、高度な情報技術を有する都市へと成長した。

今後は、新産業創出の土壌となる産学官ネットワークの強化を図り、他業種他業態の融合を引き起こすことが産業の振興や底上げに欠かせないものとする。

飯塚市では新産業（成長産業）として、2019年にブロックチェーンの取組みを開始して以降、市内大学及び市内企業と連携した取組みを行っているが、このことに関する行政計画は無い状況である。今後、ブロックチェーン技術を核とした新産業の創出を実現するために、行政計画として新産業創出ビジョンを策定して施策実行をする。

ブロックチェーンは、AIやIoT、クラウドなど様々な情報技術の信頼性を確保し、情報技術の底上げを可能とする基盤技術である。様々な情報技術の研究者や技術者が在籍する飯塚市の地で、ブロックチェーンを核に取り組むことで、研究者や技術者の融合を引き起こすだけでなく、市内企業を巻き込んだ実証事業等を通じたIT企業に限らない産業全体での融合を引き起こし、新産業の創出や産学官のネットワーク強化が図られるものとする。

## 新産業創出ビジョンの位置づけ



飯塚市産業振興ビジョンの流れを汲みつつ、ブロックチェーンを核とした新産業創出に特化した個別計画として整理

2. ビジョンの目指すもの

- ①「産学官連携」による、ブロックチェーン関連産業（人材、企業、プロジェクト）の集積と成長を図ります。
- ②産学官連携によりビジョンに取組み、ブロックチェーン技術を活用した新産業創出を実現します。
- ③ブロックチェーンの人材育成に取組みます。
- ④産業全体における新産業創出の土壌となる産学官ネットワークを強化します。

3. ビジョンの期間 令和4年度から令和8年度までの5年間の計画

4. 計画の意見聴取について

ビジョン策定の過程において、意見、助言を求める機関として、「新産業創出産学官連携協議会」を設置する。

5. 策定スケジュール（案）

令和3年	9月	飯塚市新産業創出産学官連携協議会設置
	11月	飯塚市新産業創出ビジョン骨子
	12月	飯塚市新産業創出ビジョン素案
令和4年	1月	パブリックコメント
	2月	飯塚市新産業創出ビジョン完成
	3月	議会報告（経済建設委員会）